

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 21 年 10 月 6 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	日本テクノ(株)ソーラーパワービルにおける空調機更新を通じた排出削減事業
承認番号	JDM-PJ0081
排出削減事業者名	日本テクノ株式会社
排出削減共同実施事業者名	丸紅株式会社
事業実施場所	日本テクノ株式会社 ソーラーパワービル (神奈川県相模原市鹿沼台 2-17-18)
事業の概要	本事業は、当社ビル備え付けの空調機を最新式の高効率空調機に更新し、消費電力量を抑制することで、省エネを図るものである。
排出削減量の計画	4 t CO ₂ /年 (事業実施期間合計 20tCO ₂)
国内クレジット認証期間	開始日 2008 年 5 月 25 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 004 空調設備の更新

2. 本実績確認の対象期間

2008 年 5 月 25 日 ~2009 年 8 月 31 日 (第 1 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	6tCO ₂ (2008年5月25日 ~2009年8月31日)
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 承認排出削減事業に空調設備が導入されていること、および本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間におけるエネルギー使用実績により確認した。 2) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることを、事業者への質問やエネルギー使用実績データにより確認した。 3) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) モニタリング方法については、承認事業計画に従って、計画通り個別電力量計による計測が実施されていることを確認した。 2) エネルギー使用量の計測値の記録・保存については、記録責任者の管理の下、報告期間中に渡り日次データが記録・保存されており、その集計結果が正確であることを、事業者への質問、原始証憑から日次数値への自動変換プロセスの確認、及び日次数値の集計値のチェックにより確認した。 3) 排出削減量の算定式および使用されている単位発熱量、排出係数等が方法論及び承認排出削減事業計画に従っており、算定結果が正確であることを確認した。 4) その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。

算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと	算定期間は 2009 年 8 月 31 日までであり、2013 年 3 月 31 日を超えない。
------------------------------	--

5. 特記事項

- ・確認した排出削減量に相当する省エネ量について、原油換算 4.0klであることを確認した。
- ・フロン回収破壊法が規定している引取証明書等の書類を確認することにより、同法における第一種特製製品廃棄等実施者である日本テクノ株式会社がフロン類の適法な回収義務を履行していることを確認している。
- ・日本テクノ株式会社は中小製造業の工場向けに、電気使用量、電気料金、室温、CO₂換算量をリアルタイムで表示するシステムを提供している。今後、同社の営業戦略の中で、顧客サービスの一環として国内クレジット制度の活用を同社顧客に紹介していくことを企画しており、それに先立ち排出削減見込量は小規模であったとしても、同社自身における国内クレジット制度活用を実際に経験することで知見を習得することが本件排出削減事業実施の背景である。

以上